

来訪者管理基本計画に関する取組状況

<経緯と予定>

R1 年度第 2 回 西表島部会	「持続可能な西表島のための来訪者管理基本計画」を策定
R2 年度第 1 回 西表島部会【本日】	当該計画に関するこれまでの動きや、沖縄県が今年度実施している検討内容について報告
R2 年度第 2 回 西表島部会	当該計画に関する取組の進捗状況や、指標の検討結果について確認

参考:持続可能な西表島のための来訪者管理基本計画(概要)

目 標	観光による環境・住民生活への影響を抑制するとともに、 観光による地域社会への波及効果をさらに広げ、 誇りある島の自然と暮らしを将来にわたって守り受け継ぐ
基 本 的 考 え 方	<その1>年間の受入観光客数の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・西表島に来る観光客が増えすぎないように、急激な増加を抑制します ・年間に西表島で受け入れる観光客数の目安として、総量の基準値を 33 万人、1 年毎の変動量の基準値を 1 割とし、最大限に増加しても 36 万人を超えないことを目指します
	<その2>ピーク時の 1 日あたりの受入観光客数の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ピーク時期の 1 日あたりの観光客数を抑制し、観光客の訪れる時期を分散させます ・1日あたりに西表島に受け入れる観光客数の基準値を 1,230 人として、これを超えないように観光客を誘導する仕組みを導入します
	<その3>日帰り型観光から滞在型観光への移行 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の数より質を重視し、観光によって生まれる収益や雇用が地域の社会経済や環境保全をよりいっそう支えていく仕組みを作っていきます ・滞在型観光への移行を図り、宿泊率(22%)、平均宿泊日数(1.55泊)の向上を目指します
	<その4>住民生活への影響と効用を計る指標の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・観光に関連して住民の皆様が心配されていること(道路交通量やスピードの増加、遭難や事故の発生、定期船や駐車場の混雑など)について、状況をきちんと把握して対策を計画的に推進していけるように、データの蓄積や指標の設定を行います
基 本 方 針	方針1:西表島主導の来訪者管理体制の構築
	方針2:西表島の自然を損なうことのない持続的な利用の実現
	方針3:環境負荷の低減のための来訪者費用負担の導入
	方針4:島の自然・生活・歴史文化に関する来訪者への積極的な情報発信
	方針5:観光関連産業が地域社会や経済に貢献していく仕組みの構築

<計画推進のための船会社との協定締結>

来訪者管理基本計画に基づく取組の実施と相互連携を目的として、令和2年3月27日に船会社3社と環境省、沖縄県、竹富町で協定書を締結。以下の事項について連携することとしている。

- (1) 西表島の観光客受入容量の基準値達成のための取組
- (2) 西表島の観光客の来訪時期の分散・平準化のための誘導に関する取組
- (3) 西表島の生活航路の確保・混雑解消に関する取組
- (4) 西表島における観光客のルール・マナーの普及啓発に関する取組
- (5) 西表島の入域観光客数の情報共有及びモニタリングに関する取組
- (6) その他本協定の目的に沿うこと

<今年度の取組>

① 受入観光客数指標のモニタリングと見直しに向けた検討

◇指標に関連するデータを継続して取得し、観光客数等の推移を把握。

	H30年	R1年
年間入域観光客数(人)	301,414	290,313
1日の入域観光客数(1,200人以上の日数)	17日	8日

◇指標と基準値の見直しに向けて、水道使用量等、受入観光客数指標の根拠としたデータを分析し、妥当性の確認や向上のための検討を実施。

② 住民生活への影響と効用を計る指標の検討

◇下記の内容を指標の候補として、データの取得方法や指標としての活用可能性を検討中。

- ・レンタカー・バス・タクシー・自家用車の島内保有台数の把握
- ・島内の交通量・車両スピード等の把握
- ・島内の遭難・事故発生件数の把握
- ・定期船や駐車場の混雑状況の把握
- ・観光客による島内医療機関の受診数の把握
- ・地域部会等における住民生活への影響に係る意見聴取
- ・観光関連産業による地域社会への効用(従事者数等)

③ 観光客数の管理や影響低減のための具体的取組の推進(混雑カレンダーの作成)

◇混雑カレンダーを作成することにより、西表島の混雑度について観光客に周知し、来訪時期の分散・平準化を促す。

→船会社から提供を受けた西表島への入島者数データをもとに、曜日等の条件や観光の動向を踏まえた混雑度の予測方法・示し方について検討中

→新型コロナウイルスの動向を注視しながら、関係機関と協議の上で運用開始時期等を検討する。